

なぜ空き家が増え続けるのか

玉名高校

テーマ設定の理由

ニュースなどで空き家増加による問題が取り上げられていて自分でも調べたいと思ったため。

空き家が増え続ける理由

高齢化: 日本の高齢化が進む中で、高齢者の住宅ニーズが変化してきており、子供が独立して家を離れることで親の住宅が空き家になるケースが増加している。

過疎化と都市集中: 地方地域では都市への人口流出が進み、地方都市や町村では過疎化が進む一方で、都市部では過密化が起きている。

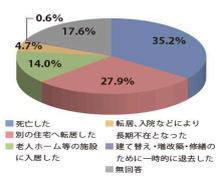
不動産市況の変動: 経済的な要因による住宅の需要減少や、土地・建物の価値が下がることで、所有者が売却せずに放置するケースが増えている。

「その他の住宅」が増えている背景として、少子高齢化や世帯構成の変化が挙げられる。空家実態調査 集計結果を見ると、人が住まなくなった理由は「死亡した」が35.2%で1位となっている。また、住宅(空き家)を取得した理由の1位が「相続した」の52.3%と、全体の半分以上を占めている。

空き家になるきっかけは、親が亡くなり相続で家を引き継いだ場合が多いということが分かる。



経産省「平成30年住宅・土地統計調査」を基に監修者作成



国土交通省「平成26年空家実態調査 集計結果」を基に監修者作成

空き家がもたらす影響

空き家が増えることで景観が損なわれたり環境衛生面でも影響を及ぼす。

対策

空き家の再利用促進

空き家をリノベーションや再開発によって再利用するための支援策を導入する。

まとめ

空き家問題は地域社会全体に悪影響を及ぼす重要な課題であり、適切な施策と地域住民の協力が必要です。再利用や賃貸住宅化など多角的なアプローチが求められている。また、地方自治体や国の役割も重要であり、積極的な支援と政策策定が不可欠である。